

## 【最優秀賞】

### 川を守るために

静岡県富士宮市立大富士小学校

五年 上山 亮

川では、たくさん遊んだ思い出がある。冷たい川に入っただけの水遊び、魚つり、川の近くでのキャンプ、まだ体験したことのないライン下りなどもきょう味がある。

川は、小さい頃からの楽しい遊び場の一つだった。

ぼくは今年の夏休み自由研究で、地球かん境について勉強した。

きっかけは、四十度近くある暑い日が続いていて、熱中症になり、なくなった人がいるというニュースを聞いたことだった。勉強する中で、地球かん境は、七つの問題があることが分かった。

いじょう気しようで川がこう水になる。

川に住むプランクトンが生きられなくなる。工場や生活はいい水が原因で川や海がよごれるなど、小さな頃からの思い出の場所が大変な事になると思った。そして、自分たちで出来ることは何があるのか考えてみようと思った。また、生活はいい水は、どのくらいよごれているのか、知りたくなった。

おふろの湯、せんとくの水、食器洗い水、ぞうきんがけの水、ドロ水、油の食器洗い水、ジュース、米とぎ汁などの水をコーヒーマシン、フィルターを使ってよごれた水を流してみた。飲み水と比べて、よごれた水はフィルターを流れるのに時間がかかりすぐよごれているのが分かった。

ぼくは、社会科見学で北山浄水場に行ったのを思いだした。浄水場は水をきれいにしてくれる所なのでぼくは自分で浄水器を作ってみたくなった。そして、ペットボトルを使って浄水器を作った。作るのは、とてもかんたんでおもしろかった。完成したら、何か流してみたくなった。

ドロ水を流してみると、ドロがなくなって黒い水から少しよごれていたけど、とう明に近づいた。

次に、グレープジュースを流した。するととう明な水になったのには、びっくりした。

生活はい水はとても川をよごすものだと感じた。川が色々な生活はい水でよごれると、たくさんの思い出の川が死んでしまうと思った。川を自分たちの手で守っていかなければいけないと思った。

川をよごさないために、おふろの湯はせんとくに使ったり、米とぎ汁などは、花の水やりに使ったりする。水のむだ使い、洗ぎい、シャンプー、リンスの使いすぎに気をつける。食べ物、飲み物を流さないなど、川に流さないように、注意することが大事だと思った。

ぼくは、給食を食べるのが苦手だ。五年生になり、残さないように食べることをがんばっている。給食を残さず食べて残飯を少しでもへらすことは、地球かん境にも役に立つし川のよごれをふせぐことにもつながると思った。

これから、川を守ったり、楽しい川遊びが続けられるように、気を付けていきたいと思う。